

- 管内 宗谷管内  
 ■分類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他 ( )  
 ■教育課程 教科 ( )科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動  
 ■校種 小学校(低) 小学校(中) 小学校(高) 中学校 高等学校  
 ■取組のポイント

- スクールガードを活用した生徒の安全を見守る活動の実施  
 ○ 教職員とスクールガードが連携した通学路の安全点検の実施  
 ○ 自転車の乗り方の改善策を生徒自らが考える取組の実施

## 取組の実際

ねらい

- スクールガードと連携した交通安全教室を実施して、自転車の安全な乗り方を学び、交通事故の原因と防止に関心を持ち、交通安全に対する意識を高める。

## 内容

- 1 スクールガードを活用した交通安全指導
  - ・教職員とスクールガードが連携し、通学路に立って交通安全指導を行っている。
  - ・年12回ある土曜授業の実施日を含めて登下校時刻をスクールガードに伝え、生徒の交通事故防止に向けて見守り活動を行っている。
  - ・教職員とスクールガードが連携して通学路の安全点検を行い、危険箇所等について情報を共有している。
- 2 交通安全教室の実施
  - ・スクールガードからの危険箇所等の情報や過去に地域で起きた交通事故の事例を基に、生徒が危険箇所を記入した地図を作成し、全員で交流した。
  - ・自転車の乗り方に係るチェックリストを活用して自己評価を行い、改善する手立てをワークシートに記入した。
  - ・「一時停止の標識のない道路から広い道路に出る際の自転車の安全な乗り方」など、具体的な場面を想定してグループで話し合いを行い、生徒が主体的に交通安全について考える機会を設定した。



【通学路の危険箇所を発表する様子】

### <生徒や保護者の声>

#### 【生徒】

「いつもスクールガードの方が声をかけてくれるので、すがすがしい気持ちになります。」

#### 【保護者】

「先生だけでなく、地域の方も見守ってくれるので安心して学校に通わせることができます。」

### 交通安全教室 ワークシート

平成27年4月28日

#### まずは、自分のことを考えよう

◆ そういえば「ヒヤリ」「ハッ」とした経験がある  
 北海道の自転車乗車中の交通事故は、平成25年は死者が13人、傷者が1,881人、平成26年は死者は9人、傷者が1,847人とここ数年減少していますが、まだまだ厳しい状況にあります。いつ自分や大切な人が被害にあってもおかしくありません。  
 まずは、日頃感じたり経験したりしていることを振り返ってみましょう。

1. 自転車で行中、自転車や歩行者と事故になりかけて「危なかった!」と思ったことが・・・  
 (1) ある →2へ (2) ない →3へ
2. その原因は何だったんだろう? 当てはまるものにチェックをしよう。  
交差点で安全確認を行わなかった 友達と2列以上で走行した  
信号無視をした 走行中に携帯電話などを使用した  
無理な横断や斜め横断をした 夜間、無灯火で走行した  
スピードを出しすぎた いつも車がない道なので油断した  
傘をさして走行した 急いで乗った  
二人乗りをした その他 ( )

3. 家の近所や通学路で「ここは危ないな」と思う場所をあげてみよう。

#### 自分の乗り方は安全だろうか?

◆今までの内容を踏まえて、自転車に乗るときに安全確認の仕方、あなたは何点?

○交通安全について、これからあなたができていることを書きましよう。

100点

【使用したワークシート】

## 成果と課題

- スクールガードと連携し、生徒自らが危険箇所を記入した地図を作成するなど、生徒の主体的な活動を生かした交通安全教室を実施したことにより、一人一人の交通安全に対する意識を高めることができた。
- 生徒自身が自らの命を守ることはもとより、地域ぐるみで中学生を交通事故から守るという機運を高めることができるよう、地域住民も参加する交通安全教室を開催する必要がある。